



トーゴ共和国

Republic of Togo

2007年10月現在



一般事情

- 1.面積 56,785キロ平方メートル
- 2.人口 630万人(2006年)
- 3.首都 ロメ(Lome)
- 4.民族グループ エヴェ族(約35%)をはじめ約40の部族からなる
- 5.言語 フランス語(公用語)、エヴェ語、カブレ語他
- 6.宗教 伝統的宗教67%、カトリック18%、
イスラム教10%、プロテスタント5%
- 8.通貨 CFAフラン
為替レート 655.957CFAフラン = 1ユーロ(固定レート)
補助通貨単位 100サンチーム = CENTIME/S

9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 0人(2006年10月現在)
- 11.在日当該国人数 20人(2006年末現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 228 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

コンセント・タイプ

15.略史

年月	略史
1884年	ベルリン会議によりドイツ領(トーゴランド)
1919年	フランス委任統治(東トーゴランド)
1946年	フランス信託統治
1960年4月	独立・初代大統領にオリンピオ氏就任
1963年1月	オリンピオ大統領殺害、グルニッキー当選
1967年1月	軍事クーデター(エヤデマ中佐)
1972年1月	エヤデマ中佐が元首・大統領に選出
1979年12月	エヤデマ将軍・第三共和国初代大統領に当選
1986年12月	エヤデマ大統領三選
1991年8月	コフィゴ首相の暫定政府
1991年12月	軍が首相を拘留、国民統合暫定政府
1992年3月	国民投票により第4共和制憲法採択
1992年11月	首都で無期限ゼネスト突入
1993年2月	首都市民20~30万人が国内外に退避 (ガーナ、ベナン等へ)
1993年3月	エヤデマ大統領襲撃事件
1993年7月	民主化に向けたワガドゥグ国際合意成立
1993年8月	大統領選挙(エヤデマ大統領再選)
1994年2月	国民議会選挙で野党勢力勝利
1994年5月	コジョ新内閣成立
1996年9月	クルツェ新内閣成立
1998年6月	大統領選挙(エヤデマ大統領再選)
2000年10月	内閣改造
2002年7月	コフィ・サマ内閣成立
2002年10月	国民議会選挙
2002年12月	内閣改造
2003年6月	大統領選挙(エヤデマ大統領再選)
2003年7月	内閣改造
2005年2月	エヤデマ大統領逝去
2005年4月	大統領選挙 (フォール・ニヤシンベ設備・鉱山・郵政大臣当選)
2005年6月	エデム・コジョ内閣成立
2006年9月	ヤウォヴィ・アボイボ内閣成立

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館

トーゴ共和国大使館 (兼轄、中国常駐)
Embassy of the Republic of Togo to Japan
11, Dongzhi Men Wai Da Jie, San Li Tun, Beijing, China
電話: (86-10)6532-2202

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 フォール・エソジンナ・ニヤシンベ大統領
- 3.議会 共和国高等評議会(HCR)
- 4.政府 (2006年9月付内閣)
(1)首相 ヤウヴィ・マジ・アボイボ(Yawovi Madji AGBOYIBO)
(2)外務・アフリカ統合大臣 ザリフ・アイエヴァ(Zarif AYEVA)

5.内政

1967年のクーデターでエヤデマ大統領が権力を掌握して以来、西アフリカでもっとも安定した国のひとつに数えられていた。

1990年には民主化の動きが高まり、10月に与党RPT(トーゴ国民連合)が同年末の憲法改正国民投票実施を発表、1991年3月には反体制団体により首都で流血を伴う大衆デモが発生、その後も不穏な政治的暴力事件が続発。

1993年2月には、軍の民衆への発砲から、ロメ市民の3分の1~2分の1が国内外に退避。

1994年2月に国民議会選挙が行われ、野党側が過半数の議席を獲得、同年4月に野党第2党のコジョ氏が首相に任命され、民主化プロセス開始。

1998年6月大統領選挙でのエヤデマ大統領再選をめくり、与野党間の政治的緊張が高まり、EU等の仲介により、1999年7月末に与野党間合意署名、2002年10月に国民議会選挙実施。

その後、憲法が改正され2003年6月の大統領選挙にはエヤデマ大統領に立候補の道が開かれ再選。

2005年2月エヤデマ大統領が逝去し、大統領継承問題につき混乱がみられた後、アバス・ボンフォ氏(国民議会副議長)が暫定大統領に就任した。

2005年4月の大統領選挙によりフォール・ニヤシンベ設備・鉱山・郵政大臣が大統領に就任。

2005年6月、穏健派野党のコジョ党首を首相とする国民和解内閣が成立(全閣僚の半数にあたる15閣僚が野党系)。

以後、与野党間の目立った対立もなく現地情勢は平穩に推移。

2006年8月、各政党間の和解対話の結果、包括的政治合意が実現し、9月、アボイボ内閣が成立。

外交・国防

1.外交

穏健な非同盟中立路線が基調。

1992年末以降の民主化の行き詰まりから主要国が援助を凍結。

その後、1995年頃から徐々に再開されていたが、主要援助国は1998年6月に行われた大統領選挙を契機とする野党の対立等、内政問題の推移を注視。

アフリカ域内では、積極的に紛争の平和的解決に努力。

リビア・チャド関係の正常化、モーリタニア・セネガル間の紛争調停、ナイジェリア・カメルーン国境紛争に関与する等、その外交手腕は評価されている。

エヤデマ大統領は1997年にはザイル(現コンゴ民主共和国)紛争問題でモブツ、カビラ両派の会談を実現、また、1999年中はECOWAS(西アフリカ諸国経済共同体)議長としてギニアビサウ紛争、シエラレオーネ紛争、また、2002年コートジボワール危機仲介の役割を積極的に果たした。

2.軍事力

- (1) 予算 35百万ドル(2006年)
- (2) 兵役 (選抜)徴兵制(2年)
- (3) 兵力 8,550名(陸軍8,100名、海軍200名、空軍250名)、憲兵隊750名

経済(単位 米ドル)

- 1.主要産業 農業(綿花、カカオ、コーヒー)、鉱業(リン鉱石)
- 2.GNI 22億米ドル(2006年世銀)
- 3.一人当たりGNI 350米ドル(2006年世銀)
- 4.経済成長率 2%(2006年世銀)
- 5.インフレ率 2.1%(2006年世銀)

6.総貿易額(2006年)

- (1)輸出 612百万ドル
- (2)輸入 1,040百万ドル

7.主要貿易品目(2006年)

- (1)輸出 綿花、燐鉱石、カカオ
- (2)輸入 石油製品、食品

8.主要貿易相手国(2006年IMF)

- (1)輸出 ブルキナファソ、ガーナ、ベナン
- (2)輸入 中国、インド、仏

9.通貨

CFAフラン

10.為替レート

655.957CFAフラン = 1ユーロ(固定レート)

11.経済概況

農業がGDPの約40%、労働人口の約70%を占める。

主要外貨獲得源であるリン鉱石、綿、コーヒー、カカオの国際市況低迷等の外的要因により財政赤字、対外債務等が厳しい状況にあったことに加え、1990年後半より、政治的混乱も加わり経済は更に落ち込んでいたが、1994年の通貨切り下げ後穏やかながら改善の方向にある。

IMF/世銀との間で1994~1997年の拡大構造調整を行い、一応の評価を得つつある他、米国の協力によるフリーゾーン(自由貿易加工地区)が稼働しはじめていること等から、今後の経済再建が期待されている。

12.対外債務

17.08億ドル(2005年/世銀)

経済協力(単位 億円)

1.我が国の援助実績

- (1)有償資金協力(2005年度まで、EN(交換公文)ベース)93.46
- (2)無償資金協力(2005年度まで、EN(交換公文)ベース)132.75
- (3)技術協力実績(2005年度まで、JICAベース)7.59

2.主要援助国(2004年:百万ドル)

- (1)フランス(26.5)、(2)独(9.7)、(3)加(6.0)、(4)米(3.6)、(5)蘭(1.2)(日本0.8)

二国間関係

1.政治関係

我が国はトーゴ独立直後1960年4月27日に政府承認。
 両国関係は要人往来の増加及び経済協力関係の強化により進展。
 同国内政の正常化を受けて、1996年よりトーゴの経済再建に向けて経済・技術協力を再開。
 我が方公館:在コートジボワール大使館(兼轄)
 先方公館:在中国大使館(兼轄)タ・アマ(TA-AMA)特命全権大使(1998年11月2日～)

2.経済関係

(1)対日貿易(2006年貿易統計)

(イ)貿易額

輸出 15億5,759万円

輸入 1,630万円

(ロ)主要品目

輸出 綿花、魚介類<

輸入 合成繊維類、セメント、二輪自動車、ゴムタイヤ等

3.文化関係

文化無償により、1990年度教育・文化番組制作機材(国営テレビ局)を供与。

4.在留邦人数

0人(2006年10月現在)

5.在日当該国人数

20人(2006年末現在)

6.要人往来

(1)往(1985年以降)

年月	要人名
1985年3月	I.P.U(列国議会同盟)会議参加のため10名の衆・参議員団(团长:奥田敬和衆議院議員)
2006年7月	日・AU友好議員連盟(三原朝彦、三ッ矢憲生、西村明宏、伊藤忠彦衆議院議員)

(2)来(1985年以降)

年月	要人名
1985年1月	アリビュイ財務相、アドト計画・工業相
1986年8月	アドト計画工業相
1987年8月	バルケ計画・鉱山相
1987年9月	バルナボ国民議会副議長(弔問特使)
1988年3月	バルケ計画・鉱山相
	バルナボ国民議会副議長
1988年12月	バルナボ国民議会副議長(弔問特使)
1989年2月	エヤデマ大統領(大喪の礼)
1989年4月	エヤデマ大統領(非公式)
1990年2月	バルケ計画・鉱山相、ジョンド工業相
1990年11月	エヤデマ大統領(即位の礼)
1993年10月	ヤンチャブレ計画相(TICAD アフリカ開発会議)
1998年10月	バルケ財務・民営化担当国務大臣
	(TICAD II(第2回アフリカ開発会議))
2001年12月	ブレ計画・国土整備、住宅都市計画大臣
2003年9月	デババ・バレ経済・財政・民営化大臣
	(TICAD III(第3回アフリカ開発会議))

7.二国間条約・取極

1963年10月 貿易取極